

# しんきんグローバル6資産ファンド (1年決算型)

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第1期(決算日2020年6月12日)

作成対象期間(2019年10月16日～2020年6月12日)

第1期末(2020年6月12日)	
基準価額	8,878円
純資産総額	436百万円
第1期	
騰落率	△ 11.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)」は2020年6月12日に第1期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託への分散投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

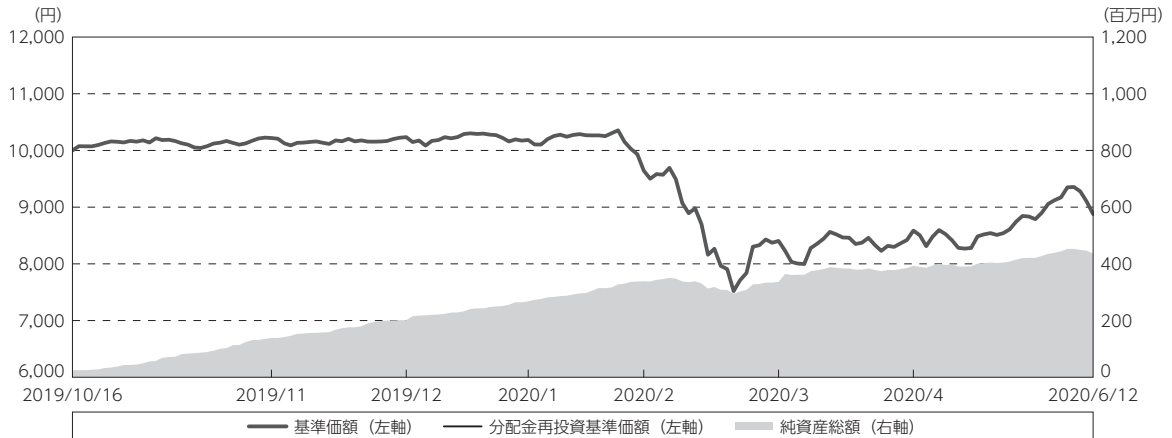
<コールセンター>  0120-781812

(土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181  
(9:00~17:00)

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2019年10月16日～2020年6月12日)



設定日： 10,000円

期 末： 8,878円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 11.2% (分配金再投資ベース)

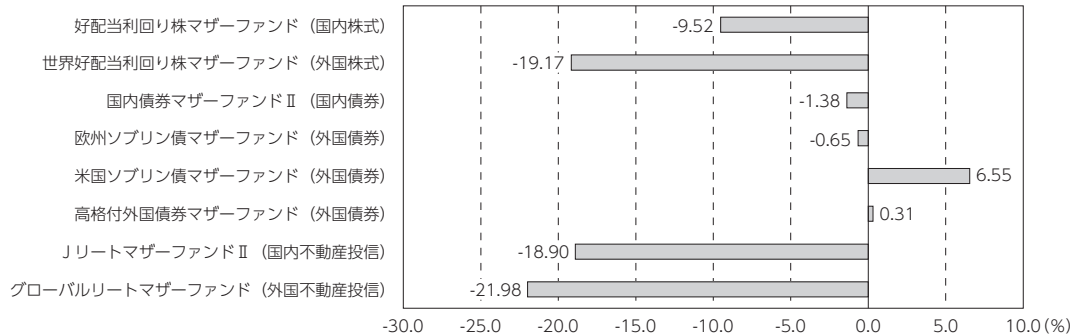
- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、複数のマザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券へ分散投資を行うことで、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しています。当期の基準価額は下落しました。

各マザーファンドの期間騰落率および当ファンドの基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

当期中の各マザーファンドの騰落率



(注) ( ) 内は主な組入れ対象資産

## <上昇要因>

- ・米国債券市場が上昇し、米国ソブリン債を投資対象とするマザーファンドがプラスに寄与したこと。
- ・カナダやノルウェーの債券市場が上昇し、高格付外国債券を投資対象とするマザーファンドがプラスに寄与したこと。

## <下落要因>

- ・外国不動産投資信託 (外国リート) 市場が下落し、外国リートを投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。
- ・外国株式市場が下落し、外国株式を投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。
- ・国内不動産投資信託 (国内リート) 市場が下落し、国内リートを投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。
- ・国内株式市場が下落し、国内株式を投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。
- ・国内債券市場が下落し、国内債券を投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。
- ・スペインやフランスの債券市場が下落し、欧州ソブリン債を投資対象とするマザーファンドがマイナスに寄与したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年10月16日～2020年6月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	70 (33) (35) ( 2 )	0.732 (0.348) (0.362) (0.022)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	5 ( 1 ) ( 4 )	0.053 (0.008) (0.045)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	1 ( 1 ) ( 0 )	0.014 (0.009) (0.004)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	13 (12) ( 0 ) ( 0 )	0.137 (0.131) (0.003) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	89	0.936	
期中の平均基準価額は、9,535円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

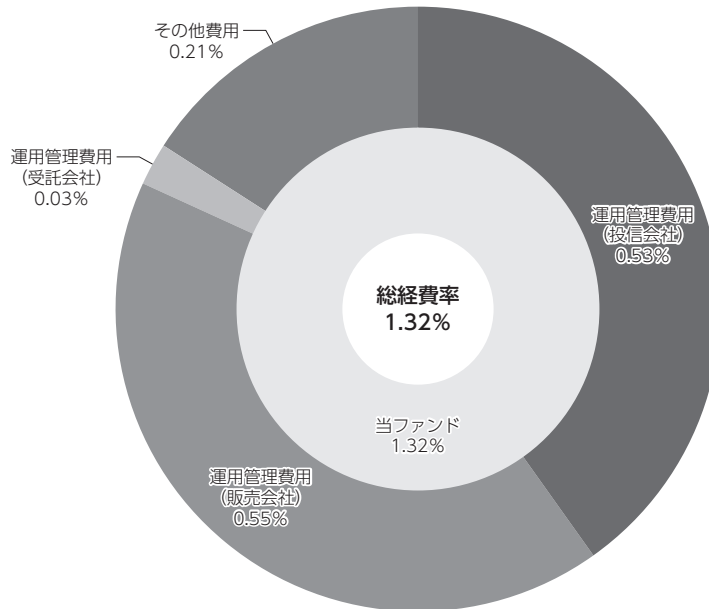
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものをみます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.32%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年6月12日～2020年6月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2019年10月16日です。

	2019年10月16日 設定日	2020年6月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,878
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 11.2
純資産総額 (百万円)	24	436

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年6月12日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは6つの異なる資産(国内株式・外国株式・国内債券・外国債券・国内不動産投信・外国不動産投信)に分散投資を行うことで投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指しておりますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

**投資環境**

(2019年10月16日～2020年6月12日)

**(国内株式市況)**

国内株式市場は下落しました。米中が「第1段階」の合意文書に署名するなど、米中貿易協議が進展したことなどから、2020年2月半ばまでは底堅く推移しました。しかし、その後、世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、景気や企業業績の悪化が懸念され、急落しました。日銀が株価指数連動型上場投資信託（ETF）の買入れ額を増額するなど、主要国・地域の中央銀行が金融緩和を実施したことや、各国政府が経済対策を決定したことで、3月を底に上昇に転じました。5月に緊急事態宣言が解除され、経済活動再開への期待が高まったことで、上昇基調を維持しましたが、当期を通じては、国内株式市場は下落となりました。

**(外国株式市況)**

外国株式市場は全体で見ると下落しました。英国の総選挙で与党・保守党が過半数の議席を獲得し、合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が後退したことや、米中貿易協議が進展したことなどから、2020年2月半ばまでは堅調に推移しました。しかし、その後、世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、景気や企業業績の悪化が懸念され、急落しました。米連邦準備制度理事会（FRB）が無制限の米国債の買入れなど巨額の資金供給策を決定したことや、米国で2兆ドル規模の経済対策が成立したことなどから、3月を底に上昇に転じました。その後も、欧米で新型コロナウイルス感染者の増加ペースが鈍化したとの見方や、欧米でロックダウン（都市封鎖）が段階的に解除され、経済活動再開への期待が高まったことで、上昇基調を維持しましたが、当期を通じては、外国株式市場は下落となりました。

**(国内債券市況)**

国内債券市場は下落（国内金利は上昇）しました。国内長期金利は、2019年10月から12月にかけて、米中貿易協議の進展期待が高まったことにより、マイナス0.1%台後半から0%程度へ上昇し、その後は、日銀の長期金利の誘導目標の0%程度を挟んでの推移となりました。ただし、2020年3月に、FRBの緊急利下げなどを受けて米国長期金利が大幅に低下したことなどにより、一時マイナス0.20%まで低下した後、大型経済対策を受けた国債増発への懸念や投資家のリスク回避による現金比率を高める動き（債券売り）により、0.10%付近まで上昇するなど、上下に大きく動く場面も見られました。日銀は、4月の金融政策決定会合で年間約80兆円としていた国債保有残高の増加額のめどを撤廃し、積極的に国債を買い入れる方針を示しましたが、国債増発による需給悪化の懸念が高まったことで、当期を通じて、国内債券市場は下落しました。

**(外国債券市況)**

外国債券市場は全体で見るとまちまちの動きとなりました。米国では、2020年1月半ばまでは、米中貿易協議が進展したことなどから、米国長期金利は1%台後半で推移しました。しかし、その後、世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、FRBが緊急利下げを実施したことなどにより、大幅に低下しました。その後、新型コロナウイルス収束後の景気回復期待が高まったものの、FRBが量的緩和政策を復活させ、無制限の国債買入れを実施したことなどから、米国長期金利の上昇は抑制され、当期を通じて、米国債券市場は上昇しました。欧州では、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、欧州中央銀

行（ECB）が新たな国債購入策を決定した一方、ECBによる利下げ期待が後退したことや欧州諸国の財政悪化懸念などにより、当期を通じて、欧州債券市場は下落しました。

#### (国内リート市況)

国内リート市場は下落しました。相対的に高い分配金利回りに着目した買いなどから、配当込みの東証REIT指数が過去最高値圏にある中で、東証REIT指数（配当なし）は2020年2月半ばまでは底堅く推移しました。しかし、その後、新型コロナウイルス感染拡大による投資家のリスク回避の動きや、3月期末を控えた金融機関の売りなどから、大幅に下落しました。その後、割安感に着目した買いなどから下げ幅を縮小しましたが、当期を通じては、国内リート市場は下落しました。

#### (外国リート市況)

外国リート市場は全体で見ると下落しました。海外金利や米中貿易協議の動向に振らされながら、2020年2月半ばまでは底堅く推移しましたが、3月に新型コロナウイルス感染拡大による投資家のリスク回避の動きから大幅に下落しました。その後、FRBの金融政策や米国の大規模な経済対策などを好感して下げ幅を縮小しましたが、米国経済指標の悪化や米中対立の激化懸念が高まったことなどから上昇は重く、当期を通じては、外国リート市場は下落しました。

#### (外国為替市況)

外国為替を対円為替相場で見ると、投資対象国の通貨の多くで下落しました。米ドルにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業や金融機関の間で基軸通貨のドル資金を確保する動きが加速し、対円で上昇する局面がありましたが、FRBが利下げや国債買入れを決定し、米国長期金利が低下したことによる日米金利差の縮小などにより、当期を通じては、対円で下落しました。ユーロにおいては、ECBによる利下げ期待が後退したことなどにより、2019年10月から12月にかけて対円で上昇しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で、ユーロ圏経済の減速懸念が高まったことなどにより、2020年1月から5月上旬まで、対円で下落基調となりました。その後、ユーロ圏諸国でロックダウン（都市封鎖）が段階的に解除されたことや、EUの欧州委員会が復興基金案を公表したことを受け、景気回復期待が高まったことなどにより、対円で上昇し、当期を通じて、対円で上昇しました。

### 当ファンドのポートフォリオ

(2019年10月16日～2020年6月12日)

当ファンドでは、長期運用に適した6つの異なる資産（国内株式・外国株式・国内債券・外国債券・国内不動産投資信託・外国不動産投資信託）を投資対象とし、それぞれの資産の組入比率がおおむね6分の1ずつとなるように調整しています。

各資産に対する投資は、マザーファンドの受益証券への投資を通じて行いました。それぞれのマザーファンドの運用経過は、以下のとおりです。



## 国内株式

### ●しんきん好配当利回り株マザーファンド

ファンドの運用方針に従い、①予想配当利回り、②企業業績、③時価総額、④財務の健全性の4項目により投資対象銘柄を絞り込み、個別銘柄の入替えなどを必要に応じて実施しました。当期末時点の組入銘柄数は87銘柄、保有銘柄の予想平均配当利回りは3.69%（時価加重ベース。日経予想・東洋経済予想・会社予想より、しんきん投信算出）となっています。株式の組入比率は98.1%となっています。

## 外国株式

### ●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

日本を除く世界各国の株式に投資することにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用しました。当期末時点の組入銘柄数は42銘柄で、各地域への投資比率については、欧州地域が63.6%と最大であり、次に北米地域が22.2%、アジア・オセアニア地域が5.4%となっています。なお、2020年5月末時点の保有銘柄の予想平均配当利回りは3.76%となっています。株式の組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しています。

## 国内債券

### ●しんきん国内債券マザーファンドⅡ

ファンドの修正デュレーション（金利感応度）は、ベンチマーク対比でおおむね中立となるよう調整し、調整範囲はベンチマーク対比で $\Delta 0.30 \sim +0.30$ 年程度としました。債券種別構成は、国債を中心とし、国債以外の債券の構成比率がベンチマーク対比でおおむね中立となるよう調整しました。当期末時点のファンドの修正デュレーションは9.66年、最終利回りは0.13%、国内債券の組入比率は96.9%となっています。

## 外国債券

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国国債などでポートフォリオを構成しています。ファンドの修正デュレーションは、各国国債インデックスに対して中立を基本とし機動的に調整しました。当期末時点の修正デュレーションは8.71年、最終利回りは $\Delta 0.09\%$ 、外国債券の組入比率は98.3%となっています。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加え、国際機関債でポートフォリオを構成しています。ファンドの修正デュレーションは、ベンチマークに対して中立を基本とし機動的に調整しました。当期末時点の修正デュレーションは6.94年、最終利回りは0.52%、外国債券の組入比率は98.7%となっています。

### ●しんきん高格付外国債券マザーファンド

英国、カナダ、オーストラリアおよびノルウェーの各国国債などでポートフォリオを構成しています。国別配分は、それぞれ25% (±5%) の範囲で調整しました。修正デュレーションの調整範囲は、英国6.0年 (±2年)、カナダ6.0年 (±2年)、オーストラリア4.5年 (±2年)、ノルウェー5.0年 (±2年) で行いました。当期末時点のファンドの修正デュレーションは5.11年、最終利回りは0.37%、外国債券の組入比率は98.4%となっています。国別修正デュレーション (債券部分) 等については以下のとおりです。

	英国	カナダ	オーストラリア	ノルウェー
修正デュレーション (年)	5.19	5.28	4.06	4.86
最終利回り (%)	△0.01	0.48	0.66	0.31

### 国内不動産投資信託

#### ●しんきんJリートマザーファンドⅡ

銘柄選定にあたっては、①財務の健全性、②収益性および分配金利回り、③流動性および価格水準に着目し、各銘柄の比率は、時価総額比率をベースに調整しました。当期末時点の組入銘柄数は50銘柄とし、相対的に流動性の低い小型銘柄などをアンダーウエイトとする一方で、供給を上回る需要の拡大が見られる物流系銘柄などをオーバーウエイトとしています。なお、予想分配金利回りは4.05%、組入比率は97.8%となっています。

### 外国不動産投資信託

#### ●しんきんグローバルリートマザーファンド

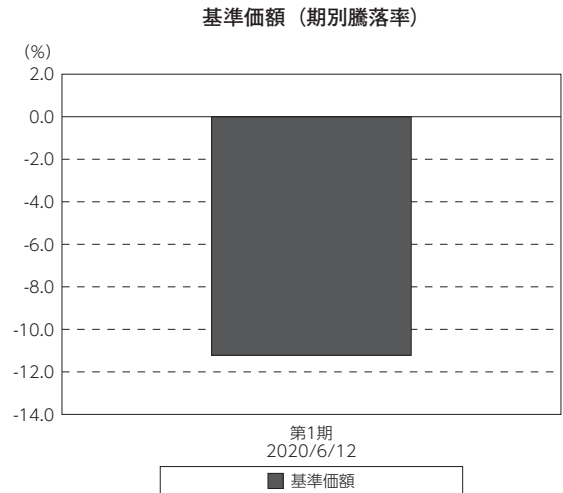
S & P先進国REIT指数 (除く日本、ヘッジなし・円ベース) の動きに連動する投資成果を目指して、日本を除く世界各国の金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) の不動産投資信託証券に投資を行いました。当期末時点の組入銘柄数は305銘柄で、各国への投資比率については、リート市場が世界最大規模である米国に対して74.2%、次に規模が大きなオーストラリアで6.7%、その他の欧州・アジアで18.9%となっており、これらの国々における銘柄に幅広く分散投資しています。また、指数ベースで見たと2020年5月末時点での平均配当利回りは5.05%となっています。組入比率については、おおむね95%以上の高位を維持しています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年10月16日～2020年6月12日)

当ファンドは、6つの異なる資産（国内株式・外国株式・国内債券・外国債券・国内不動産投資信託・外国不動産投資信託）に分散投資を行うことで、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指していますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## 分配金

(2019年10月16日～2020年6月12日)

当期の分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

### 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2019年10月16日～ 2020年6月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	73

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き、6つの異なる資産（国内株式・外国株式・国内債券・外国債券・国内不動産投資信託・外国不動産投資信託）の組入比率がおおむね6分の1ずつになるよう、マザーファンドの受益証券へ投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

各マザーファンドの運用方針は、以下のとおりです。

### 国内株式

#### ●しんきん好配当利回り株マザーファンド

主として、予想配当利回りが市場平均を上回ると判断できる株式に投資し、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用を行います。

### 外国株式

#### ●しんきん世界好配当利回り株マザーファンド

日本を除く世界各国の配当利回りの高い企業の株式へ分散投資を行うことにより、安定した配当収益の獲得と投資信託財産の成長を目標として運用を行います。

### 国内債券

#### ●しんきん国内債券マザーファンドⅡ

「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとし、主として我が国の公社債に投資することにより、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

### 外国債券

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

主として、欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

主として、米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

#### ●しんきん高格付外国債券マザーファンド

日本、米国、EMU参加国を除く世界各国の国債、政府機関債、地方債および国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

## 国内不動産投資信託

### ●しんきんJリートマザーファンドⅡ

我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。運用にあたっては、東京証券取引所が算出・公表する「東証REIT指数（配当込み）」をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指して運用を行います。

## 外国不動産投資信託

### ●しんきんグローバルリートマザーファンド

日本を除く世界各国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券に投資し、S & P先進国REIT指数（除く日本、ヘッジなし・円ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

## お知らせ

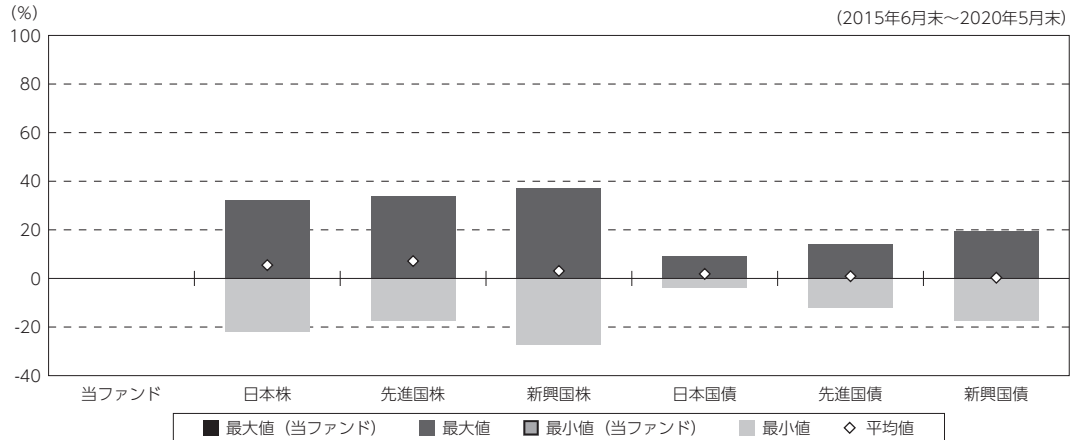
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>①各マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券へ分散投資を行います。</p> <p>②各マザーファンド受益証券への資金配分は、原則として、6つの資産の割合が、投資信託財産の純資産総額に対して、おおむね6分の1ずつになるよう、それぞれ以下に定める範囲内で投資します。</p> <p>&lt;国内株式&gt; 16% (±10%) しんきん好配当利回り株マザーファンド受益証券</p> <p>&lt;外国株式&gt; 16% (±10%) しんきん世界好配当利回り株マザーファンド受益証券</p> <p>&lt;国内債券&gt; 16% (±10%) しんきん国内債券マザーファンドⅡ受益証券</p> <p>&lt;外国債券&gt; 16% (±10%) しんきん欧州ソブリン債マザーファンド受益証券 しんきん米国ソブリン債マザーファンド受益証券 しんきん高格付外国債券マザーファンド受益証券</p> <p>&lt;国内不動産投信&gt; 16% (±10%) しんきんJリートマザーファンドⅡ受益証券</p> <p>&lt;外国不動産投信&gt; 16% (±10%) しんきんグローバルリートマザーファンド受益証券</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</p>
主要投資対象	しんきん好配当利回り株マザーファンド受益証券、しんきん世界好配当利回り株マザーファンド受益証券、しんきん国内債券マザーファンドⅡ受益証券、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド受益証券、しんきん米国ソブリン債マザーファンド受益証券、しんきん高格付外国債券マザーファンド受益証券、しんきんJリートマザーファンドⅡ受益証券およびしんきんグローバルリートマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託への分散投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。
分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益も含まれます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	32.2	34.1	37.2	9.3	14.0	19.3
最小値	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	-	5.5	7.1	3.1	1.9	0.9	0.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年6月から2020年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載していません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、19ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2020年6月12日現在)

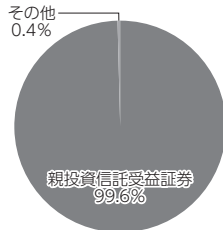
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
しんきん国内債券マザーファンドⅡ	17.3
しんきんJリートマザーファンドⅡ	16.9
しんきん好配当利回り株マザーファンド	16.6
その他	48.9
組入銘柄数	8銘柄

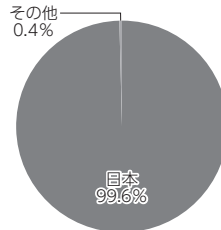
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

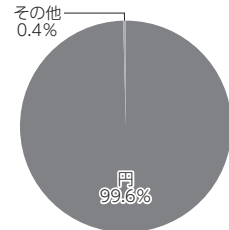
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

### 純資産等

項目	第1期末
	2020年6月12日
純資産総額	436,175,570円
受益権総口数	491,325,819口
1万口当たり基準価額	8,878円

(注) 期中における追加設定元本額は468,182,243円、同解約元本額は1,701,156円です。



組入上位ファンドの概要

しんきん国内債券マザーファンドⅡ

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月13日～2020年6月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.001 (0.001)
合 計	0	0.001

期中の平均基準価額は、13,435円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

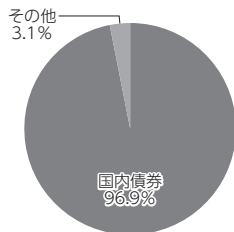
【組入上位10銘柄】

(2020年6月12日現在)

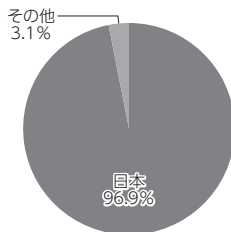
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	第322回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	4.3
2	第61回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.9
3	第333回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	3.4
4	第317回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	3.4
5	第22回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	3.2
6	第160回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.0
7	第164回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.9
8	平成28年度第3回埼玉県公募公債	地方債証券	円	日本	2.9
9	第148回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.8
10	第144回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.8
	組入銘柄数		55銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

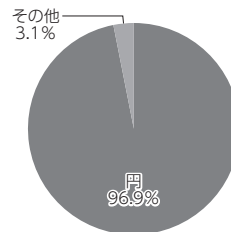
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

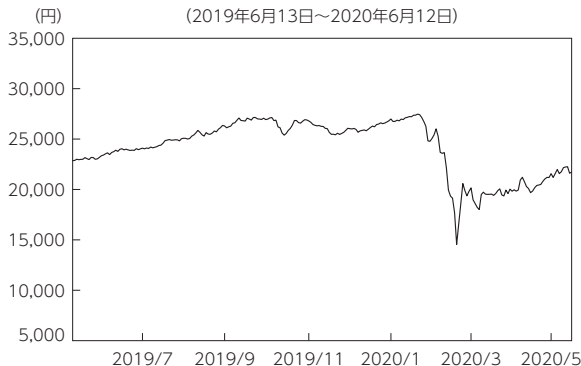


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。  
 (注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

しんきんJリートマザーファンドⅡ

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年6月13日～2020年6月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	115 (115)	0.474 (0.474)
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)
合 計	115	0.474

期中の平均基準価額は、24,315円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

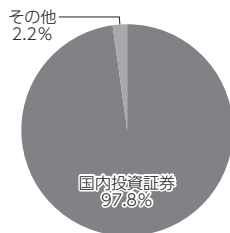
【組入上位10銘柄】

(2020年6月12日現在)

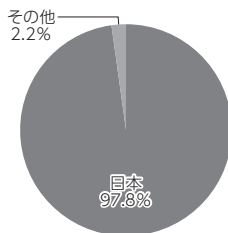
銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
1 日本ビルファンド投資法人	投資証券	円	日本	7.0
2 ジャパンリアルエステイト投資法人	投資証券	円	日本	6.1
3 野村不動産マスターファンド投資法人	投資証券	円	日本	5.2
4 日本プロロジスリート投資法人	投資証券	円	日本	4.9
5 大和ハウスリート投資法人	投資証券	円	日本	4.3
6 GLP投資法人	投資証券	円	日本	3.9
7 オリックス不動産投資法人	投資証券	円	日本	3.4
8 アドバンス・レジデンス投資法人	投資証券	円	日本	3.3
9 日本リートールファンド投資法人	投資証券	円	日本	3.2
10 ユナイテッド・アーバン投資法人	投資証券	円	日本	3.1
組入銘柄数		50銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

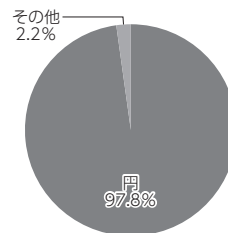
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

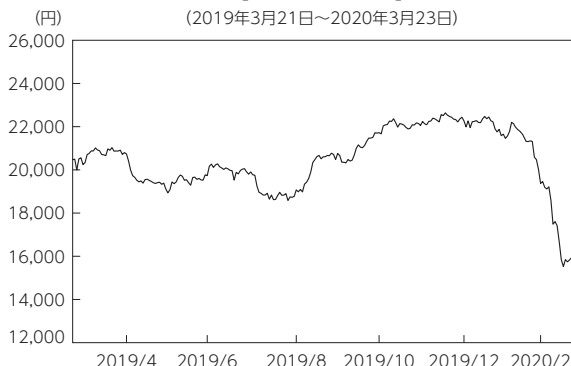


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。  
 (注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

しんきん好配当利回り株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年3月21日～2020年3月23日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.010 (0.010)
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	2	0.010

期中の平均基準価額は、20,525円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

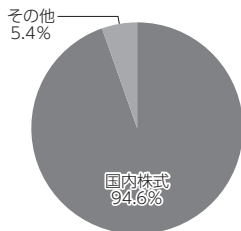
【組入上位10銘柄】

(2020年3月23日現在)

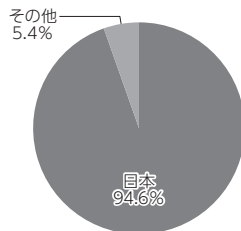
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 IDEC	電気機器	円	日本	1.2
2 帝人	繊維製品	円	日本	1.2
3 太陽ホールディングス	化学	円	日本	1.2
4 大東建託	建設業	円	日本	1.1
5 日本電信電話	情報・通信業	円	日本	1.1
6 伊藤忠商事	卸売業	円	日本	1.1
7 因幡電機産業	卸売業	円	日本	1.1
8 オンワードホールディングス	繊維製品	円	日本	1.1
9 サンゲツ	卸売業	円	日本	1.1
10 JXTGホールディングス	石油・石炭製品	円	日本	1.1
組入銘柄数		88銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

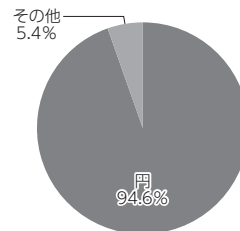
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。  
 (注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。